

ボツリヌス療法専門外来のご案内

ボツリヌス療法専門外来では、脳卒中の後遺症などの痙縮に対してボツリヌス療法を行っております。下記のような事でお困りの方はご相談ください。

脳卒中の運動機能障害のひとつに痙縮という症状があります。痙縮とは筋肉が緊張しすぎて、手足が動かしくい、勝手に動いてしまう状態のことです。痙縮では、手指が握ったままとなり開こうとしても開きにくい、肘が曲がる、足先が足の裏側のほうに曲がってしまうなどの症状がみられます。



ボツリヌス療法とは？

ボツリヌス治療とは、ボツリヌス菌(食中毒の原因菌)が作り出す天然のたんぱく質(ボツリヌストキシン)を有効成分とする薬を障害となっている筋肉内に注射する治療です。ボツリヌストキシンには、筋肉を緊張させている神経の働きを抑える作用があります。そのためボツリヌストキシンを注射すると、筋肉の緊張をやわらげることができるのです。ボツリヌス菌そのものを注射するわけではないので、ボツリヌス菌に感染する危険性はありません。当院では手足(上肢・下肢)のこわばりに対して治療を行っています。

■ボツリヌス療法の効果■

ボツリヌス療法によって次のような効果が期待できます。

筋肉のこわばりによる痛みが軽減します。

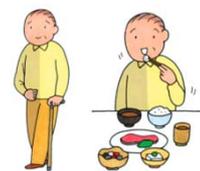
ボツリヌス療法を行った後、リハビリテーションを組み合わせることで効果が期待されます。当院では、入院での治療にも対応しています。



介護の負担が軽くなります



リハビリテーションの効果が上がります



日常生活がしやすくなります

■治療スケジュール■

治療の前に診察をし、ボツリヌス療法を行ってよいかどうか、行う場合どの筋肉に打つのか、リハビリの進め方などをご相談します。治療に同意された場合、注射の予約をいたします。

ボツリヌス療法の効果は、注射後2～3日目からゆっくりあらわれます。通常3～4か月間持続します。その後、効果は徐々に消えてしまうので、治療を続ける場合には、年に数回、注射を受けることになります。治療スケジュールやリハビリの進め方は、担当医師と相談しながら、決めていきます。

■外来予約について■

【外来診察時間】

毎週月曜日13:00～、または13:30～の完全予約制です

TEL : 0567-52-3883

事務課：専門外来受付担当まで